

2022

11/13

週

報

神は唯一です。また、神と人との間の仲介者も唯一であって、それは人としてのキリスト・イエスです。 [1 テモテ 2:5]



Photo by Pemma [Matsuyama]

さあ、しっかりと事を動かそう！ 万代 栄嗣

今週のグッドニュース

「楽しいサッカー&バーベキューでした！」…………… [証し](#)

「393へブル人への手紙①」… [もっと知りたい! 聖書のすべて!!](#)

先週のメッセージ マルコの福音書 10章35節～45節

「主キリストの現れの意味を忘れない」

暮らしの「みことば」

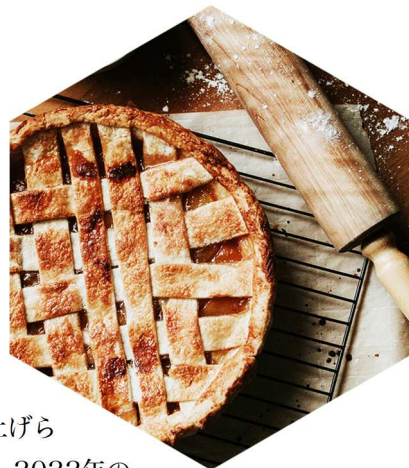
連載読み物

使徒の働き 6章7節…………… 現代に生きる聖書

毎日クリスチャン150…………… エッセーマンガ

さあ、しっかりと事を動かそう！

万代 栄嗣



四 国の諸教会を霊的に元気にして、みんなで主キリストの福音を語り、新たにクリスチャンとなる方々をたくさん生み出して行こう！私たちも主の証し人となって、周囲の人々を救いへと導こう！…という願いを込めて、“愛と希望の祭典・四国”開催へのビジョンを掲げて有志の牧師たちによる実行委員会が立ち上げられて、早くも4年、5年という年月が経ちました。本来ならば、今年、2022年の10月には愛媛県民文化会館を主会場としての大伝道集会在、アメリカからウィル・グラハム先生をお迎えして大きな恵みの中、持たれていた“はず”でした。

しかし、実際には、2019年の年末に始まり、日本でも2020年の始めから影響が出始めた、コロナ・ウィルス感染症の世界的パンデミックの影響をまろに受けて、すべての予定が延期、中止され、3年間という月日が何もできないまま過ぎてしまいました。このコロナ禍の3年間というのは、私たちの人生の歩みの中でも特別な色合いを持つ日々として記憶にとどめられることになると思います。社会生活に関わる多くの事柄が阻害され、委縮させられ、人生全体にいきなり急ブレーキがかかった感じです。教会の活動ももちろん無縁ではあり得ず、礼拝などの基本的な活動も、バザーや海外伝道などの特別な計画も大きなマイナスの影響を受けることになってしまったのです。

その“愛と希望の祭典・四国”の働きが、何とこの度、はっきりと再開し、力強く動き始めました。先週の水曜日、アメリカのビリー・グラハム伝道協会(BGEA)より、アジア地区での大会開催の担当者であるデレック・フォーブス先生が来日し、松山まで来てくださいました。実行委員会の中心となる牧師先生方と会議の時を持ってくださり、改めて仕切り直しをして、さあ事を動かしていきましょう…ということになったのです。実行委員会の牧師先生方も、みなさんももちろん大喜びで、再びエンジンがかかったような感覚です。

巷では、コロナ禍の第8波の始まりか？などとささやかれ始めていますが、いつまでも何もしないままで、コロナ禍にやられっ放しでは残念です。細心の注意を払い、様々な工夫を凝らしつつ、少々逆風は共に乗り越えてまいりましょう。コロナ禍によるマイナスの条件も、私たちは信仰を働かせて、力強く前向きに取り組んでいけるはずですよ。あなたの、2022年秋の日々の歩みが豊かに祝福されますように。あなたの病も癒されます。祈りは応えられます。さあ、主キリストを信じて、事をしっかりと動かしてまいりましょう。

recommend

おすすめ情報

おすすめ



片目の王

■ビル・ウィルソン著／万代栄嗣訳
ウィズダム出版(1500円)

ごく普通の人々が、偉大なことを成し遂げるための9つのポイントを伝授。現状を打開する方法を見出せます。

プレゼント



A Season's Greeting at Christmas

■がんばるばんど(Eiji & Yuji)
GEMImpact (1000円)

がんばるばんどのオリジナル曲と讃美歌のスタンダードナンバーO Holy Nightなど全5曲

証し 『楽しいサッカー&バーベキューでした!』

11月3日、プレイズフェロウシップが主催してのサッカー大会を行いました。

ピーター兄が中心となって、サッカー大会をしようと提案がありました。昨年と同じ時期にサッカー大会を開きましたが、今年はサッカーをした後、バーベキューをするというビッグイベントとなりました。

今回はサッカーができる会場を探すことに苦勞し、場所が決まったのは、なんと1週間前(実は去年も同じぐらいにギリギリになって決まっていた)。学校の文化祭などで参加できない人もいて、果たしてサッカーができるメンバーが集まるのかという心配の中、当日を迎えました。

しかし、プレイズのメンバーや教会の兄弟姉妹たちが色々として声をかけてくれたおかげで、サッカーができる人数が集まり、プレイズのメンバーも家族で参加したり、イベントに初参加の方、久しぶりの方も参加して下さったりと神様が備えてくださって感謝でした。サッカーの試合そのものは白熱しつつも、誰も怪我することなく守られ、みんなが笑顔で楽しく行うことができました。(私自身は試合途中からパテパテで、ほとんど動けませんでした(^;))。国籍が違って、ひ



とたびボールを蹴り出すと自然とみんなが集まり、言語が違っていても共に協力しあい、ボールを繋いでゴールした瞬間は素晴らしいものがあり、喜びを一緒に分かち合えた恵みに浸ることができました。

そして、サッカーを終えた後は、教会に戻り駐車場にてバーベキュー。重見兄が中心となって準備し、プレイズのメンバーも進んでお手伝いしてくれました。用意したお肉もちょうどよく完食し、参加した皆さんが笑顔溢れるひとときでした。すべてが守られ、良き交わりを持つことができ、感謝な一日でした。

11月23日はレインボーハイランドでスポーツデー&再びバーベキューです(笑)! ぜひみなさんで参加してスポーツの秋、そして食欲の秋を、神の家族として良き交わりを持ち、一緒に楽しみましょう!

松山福音センター 井原造

もっと知りたい! 聖書のすべて!!

【393】へブル人への手紙①「この手紙の著者は?」(導入)

★クイズ: ①~⑥
に入る言葉は?

「へブル人への手紙」の著者は、誰でしょう?

古来の定説は、パウロです。しかし、へブル人への手紙に関する最も古い文書では、その著者の名は、不明であったり、「パウロ」以外にも「バルナバ」などの名が挙げられていたりします。宗教改革で有名なルターは「アポロ」説を唱えました。この手紙に見られる豊富な旧約聖書の知識と神学論文のような内容から、「(旧約)聖書に通じて」いて「(①)なアポロ」(使徒18:24)がふさわしいと考えたのです。しかし、古い教会の伝承の中には、アポロを著者と見るものはありません。

さらに、旧約聖書に詳しいと言えば、もっとふさわしい人物がいます。律法の専門家、パウロです。確かに、へブル人への手紙が書かれたのは、パウロの死後、もっと後の時代のものと見る説があります。しかし、神殿の儀式などを詳細に記すこの手紙の中で、紀元70年のエルサレム陥落と神殿崩壊について何も触れ

ていないのは、手紙の執筆年代がそれ以前で、パウロ生前の可能性もあると見ることもできます。また、「この救いは最初(②)によって語られ、それを(③)人たちが、確かなものとしてこれを私たちに(④)」(2:3)とあることから、手紙の著者の「私たち」は、パウロやキリストの使徒たちから福音を伝えられた第2世代と見る説があります。確かにそうですが、パウロも十字架以前のキリストと直接出会っておらず、福音について、「私も(⑤)ことであって」(1コリント15:3)と語るパウロは、この手紙の「私たち」と同じなのです。

手紙の最後に、パウロの弟子の「兄弟(⑥)が釈放されたこと」が記されています(13:23)。ですから、著者は、(//)と親しい人です。パウロもそうなのです。

確かに、パウロが著者の可能性は高いように思われますが、断定はできません。この手紙の中に、パウロも含めて著者の名は何も記されていないのですから。



「主キリストの現れの意味を忘れない」

牧師 万代 栄嗣



マルコの福音書 10章 35節～45節

…ヤコブとヨハネが、イエスのところに来て言った。…「あなたの栄光の座で、ひとりを先生の右に、ひとりを左にすわらせてください。」しかし、イエスは彼らに言われた。「あなたがたは自分が何を求めているのか、わかっていないのです。」「…あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、みなに仕える者になりなさい。あなたがたの間で人の先に立ちたいと思う者は、みなのもべになりなさい。人の子が来たのも、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためなのです。」

紅葉の美しい清々しい秋の季節になりました。そんな中で神様の前に私たちの心も、喜びと感謝と賛美にあふれて、神様から見ても美しい心でありますように。神様の霊的な目は私たち心の内をも見えています。神様が一番気にかけておられるのは私たち人なので、神のみ心にかなう生き方ができるように、私たちの魂の状態を整えてまいりましょう。

聖餐式礼拝に出席できたことは、素晴らしいことです。どんな時も救い主イエス様を信じ続ける者でありましょう。毎日の生活の中では、よいことばかりではなく、辛いこと悲しいこと、頑張ってもなかなか成果が出なくて心が落ち込むこともあります。しかし、日々まことの神様と歩むならば、必ず祝福されて意義深い価値ある毎日に変えてくださいます。

12月17日には「松山市民チャリティークリスマス」が催されます。クリスマスは、神の御子である救い主イエス・キリストが、私たちのために人としてお生まれくださったことをお祝いする時です。この機会に、イエス様にスポットライトをあてて、本物のクリスマスにたくさんの人をお誘いしましょう。初代教会の時代、ものすごい勢いで福音が世界中に伝わったのは、信徒たちの証しの力によるものでした。私たちひとりひとりも、福音を恥とはしない堂々とした姿勢でキリストを証してまいりましょう。

今日の聖書箇所は、イエス様が神の御子であるにもかかわらず、この世に人として現れてくださった理由を語ります。ここから3つのポイントを押さえておきましょう。

1. 自己犠牲による栄光の成就

ゼバダイの子のヤコブとヨハネがイエス様に、あるお願いをしました。それは、イエス様が栄光の御座につかれた時、自分たち二人をイエス様の右と左の

座につかせてください、という願いでした。しかし、彼らが願う栄光と、イエス様の栄光の時は全く違っていました。弟子たちは、権威があり、地位・権力を持つ王様や大臣になることを願いましたが、イエス様の考える栄光の時は十字架での死でした。イエス様は、私たちを救うために自らの命をささげて神の栄光を実現されたことを忘れてはなりません。

2. へりくだられる救い主

他の10人の弟子たちが、自分たちを出し抜いてイエスにお願いしたヨハネとヤコブに腹を立てたのは、彼らも同じようなことを思っていたからでした。しかし、イエス様は「偉くなりたいと思う者は、みなに仕える者になりなさい。」(44節)と言われました。また、ピリピ2:7には、「ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられたのです」とあります。主は、へりくだり仕えることを教えて、私たちに素晴らしい模範を示してくださったのです。

3. 私たちの罪の贖いとなられたお方

私たちを罪と悪から解放して自由にするために、イエス様が命を捨てて、身代金を払ってくださいました。そこまで私たちを愛して救ってくださったのです。イエス様のご誕生を祝うクリスマスの「おめでとう！」は、イエス様のためではなく、実は私たちのための「おめでとう！」なのです。この「おめでとう」の意味の深さを忘れないで、イエス様を愛し続けてまいりましょう。

<https://www.mission.or.jp/weekly>

先週のメッセージは、インターネットにも掲載しています。パソコン・携帯電話などから教会ホームページにアクセスしてご覧ください。





使徒の働き 6章7節

こうして、神のことばはますます広まっていき、エルサレムで弟子の数が非常に増えていった。また、祭司たちが大勢、次々と信仰に入った。

初代の教会は急激に成長したために、様々な問題を抱えてしまいました。一つは貧しい人々に対する給食の奉仕が公平性を欠くことになっていたことでした。ペテロたちは、7人の聖霊に満ちた、また人々に評判の良い忠実な執事たちを選び、彼らにその奉仕を任せることにしました。この決定によって教会の日々の働きがとてもスムーズになり、福音宣教がますます前進することになります。

聖書は、「神のことばはますます広まっていき、エルサレムで弟子の数が非常に増えていった。また、祭司たちが大勢、次々と信仰に入った」と記しています。弟子の数が非常に増えていったのですが、その中に祭司たちが大勢信仰に入ったのです。

当時、祭司は、神殿において礼拝や様々な祭儀にまつわる仕事をしていました。その祭司たちが大勢キリストを信じるようになっていったというのです。

振り返ってみれば、イエスを死刑に定め、ローマ総督に訴えたのは大祭司でした。ですから、ほかの祭司

たちも大祭司の意向を受けて、クリスチャンたちに対しては悪いイメージしかなかったことでしょう。

しかし、迫害されても宣教をやめず、大胆に福音を語り続ける弟子たちの姿は、祭司たちにも大きなインパクトをもたらしていました。祭司職に就いているということは、それだけ旧約聖書や神殿の捧げ物や香をたく意味についても深く理解していたはずで、彼らの中には、純粋に神様を信じ、救い主が来られるのを待望していた人たちもいたに違いありません。

振り返ってみれば、パプテスマのヨハネの父ザカリヤは祭司でしたし、律法学者ニコデモもキリストに会っていました。また、イエスを墓に納めたアリマタヤのヨセフも議会を構成する議員の一人でした。周りにキリストにかかわり、信奉していた人たちも多かったのです。そうして、弟子たちの大胆な宣教の姿勢や神の業を見るにつけ、祭司の中にもキリスト信仰に導かれる人たちが起こってきたのです。思いもかけない所にまで、キリストの福音は進んでいったのでした。



エッセーマンガ 毎日十クリスチャン

第一五〇回

受洗記念日

森島百合

教会からのお知らせ

神学校スクーリング！

14日(月)～19日(土)は、神学校のスクーリングです。
火曜日～金曜日のお昼のチャペルアワーのメッセージを神学生が担当します。励ましも込めて、ぜひご出席ください。
また、背後でのお祈りもお願いします。

各地のクリスマス！

今年も日頃集会を行っている、広島、神戸、大洲、高松、鹿児島、東京、福岡でクリスマスの特別集会を開催します。お知り合いの方々がその地域の近くにお住まいでしたら、チラシがありますので、ぜひお誘いください。

クリスマス感謝献金・牧師感謝献金！

クリスマス、神様の福音を伝える働きのために特別にあなたの献げものがが必要です。神様に必ずお祈りしてから感謝をもってお献げください。専用の献金袋は受付にあります。
お振り込みいただく場合は、松山福音センターの郵便振込用紙にクリスマス感謝献金・牧師感謝献金とご記入ください。

チャリティークリスマスチケット販売！

12月17日(土) 南海放送本町会館テルスターホールにおいて、午後2時&6時の2回公演による市民チャリティークリスマスを行ないます。ぜひチケットを多目にお預かりください。チラシと共にいつも鞆に入れて持ち歩き、積極的にお声かけしてひとりでも多くの方々をお誘いしましょう。
前売りチケットは1枚一般¥1,200、中高生¥600です。

大洲キリスト教会 会堂建設献金募集中

大洲キリスト教会の会堂建設献金を募集中。(専用封筒有り)
送金は、必ず大洲キリスト教会献金とご記入の上、下記までお振り込みください。

郵便振替口座 01610-7-15935
口座名義人：松山福音センター

松山福音センターへの 送金についてのご案内

送金・献金して下さる方は
下記のいずれかでどうぞ。

- ①郵便振替口座
01610-7-15935
- ②ゆうちょ銀行 169店
当座預金 0015935
口座名義人：松山福音センター

□□□Кв□^еЕё. Үћ. Ыі Үѓ



電話で聴く！

おやくだち 急にニッコリよいはなし
089-922-4180



ネット動画で見る！

動画で見るキリスト教の聖書の話 検索
<https://sukuinodaiyaru.blogspot.com/>

いつでもどこにいても動画も観られます

内容は、聖書通読箇所と連動して、毎日新しくなります

ƒ Й ρ η □ ƒ е ƒ «



今週の予定表

11/13 (日)

- 9:00 神癒礼拝① 万代師
- 9:00 教会学校 (幼児～中学生)
- 11:00 神癒礼拝② 万代師
- 19:30 夕拝 (讃美:重見) 岡師

11/14 (月)

- 6:00 朝の祈り (5Fチャペル)
- 12:15 チャペルアワー
(奨励:岡/奏楽:岡か)

11/15 (火)

- 6:00 朝の祈り (5Fチャペル)
- 12:15 チャペルアワー
(奨励:佐藤/奏楽:万代文)

11/16 (水)

- 6:00 朝の祈り (5Fチャペル)
- 12:15 チャペルアワー
(奨励:重見/奏楽:粕谷)
- 19:30 特別祈禱会

11/17 (木)

- 6:00 朝の祈り (5Fチャペル)
- 12:15 チャペルアワー
(奨励:安達/奏楽:重見)
- 19:30 祈禱会 (讃美:安達) 万代師

11/18 (金)

- 6:00 朝の祈り (5Fチャペル)
- 12:15 チャペルアワー
(奨励:三宅/奏楽:重見)

11/19 (土)

- 6:00 朝の祈り (5Fチャペル)
- 12:15 チャペルアワー
(奨励:万代/奏楽:万代文)
- 19:00 聖日礼拝準備祈禱

11/20 (日)

- 6:00 早天礼拝 万代師
- 9:00 第一礼拝 万代師
(聖書交読:亀本知)
- 9:00 教会学校 (幼児～中学生)
- 11:00 第二礼拝 万代師
(聖書交読:喜安勝)
- 19:30 夕拝 (讃美:万代恵) 岡師